

# エネルギー教育関連教材

教材名：「放射線測定器」No.3

領域・学年：社会科・小学校5学年

単元：環境を守る人々

- 目標：・放射線とは何か，良い点，危険な点について学ぶ。
- ・原子力発電所の良い点，危険な点について知る。
  - ・現状の放射線問題への対応，原発についての人々の考えの実態を理解する。



内容：

- ①放射線について ・放射線とは何か。 ・良いところ危険なところ  
《資料：「放射線について考えてみよう」 著作・編集 放射線などに関する副読本作成委員会》
- ②原子力発電について ・原料(ウラン)・他の発電との比較で優れたところ，悪いところ。
- ③東北大震災後の放射線についての対応 ・避難，調査の実態。  
(新聞に毎日測定値が載っていることを知る)
- ④原子力発電について国民の考えの実態 ・賛成の考え方，反対の考え方
- ⑤校内の様々な箇所について**放射線測定器**を使って測定してみる。

児童の感想：

- ・花や土，太陽からも放射線が出ているなんて初めて知った。この勉強をして，福島の人たちのことが前よりも心配になった。
- ・放射線はぼくたちのすぐそばにあり，とても役立つこともある反面，人に危害を及ぼす働きがあることがわかった。
- ・放射線はたくさん浴びれば体に危険だということがわかった。
- ・放射線測定器で放射線を計ってみて，場所によって数値が高いところや低いところがあることがわかった。役に立つ機械だと思った。
- ・マイクロシーベルトが高いところや低いところがあってびっくりしました。「何でだろう。」とか「大きい石のそばだからかな？」といろいろ考えてみて楽しかったです。
- ・原発は少しの原料でたくさんの電気が作れる。また二酸化炭素の排出量も少ない。しかしウランを使うし，原発のゴミ，事故のことを考えると危険だと思った。原発ゴミが埋められている地域の人の気持ちを考えてしまった。でも，原発がなくなれば電気が足りなくなったり，高くなったりする。わたしはどうしたらいいか悩んでしまった。
- ・マイクロシーベルトという単位を初めて知りました。